

「PTA 役員選出方法に関するアンケート」の結果への対応について

昨年度実施された表記アンケートの結果を受け、選管と PTA 役員で、今年度の選挙実施方法について検討を進めてきました。頂いた意見には、選出方法に関する指摘に加え、PTA の運営方法や将来のあり方に関するものまで、幅広い視点が含まれていましたが、今年度は、足元の問題点の改善に焦点を絞り、下記の対応とします。

- 互選会において、辞退する理由についてプライベートも含めて大勢の前で話さないといけない雰囲気を感じ強いストレスを受けたり、そもそも互選会に出席すること自体にストレスを感じられた方が複数いらっしゃいました。この点については、今後の選挙方法を説明する際に、互選会への出席は候補者の任意であること、出席したとしても辞退理由を無理に話す必要がないことを周知徹底することとします。また、互選会では、進行役（選挙管理委員）が適切に議事進行をコントロールし、ストレスのない環境下で前向きな話し合いが進むように心がけます。
- 候補者が他薦のみで選出されることから、希望しない方が候補者となったり、希望する方が候補者になれない状況になっているのではないかと、との指摘がありました。この点については、役員選出に関心のある方や、役員の仕事ややりがいについて話だけでも聞きたいという方を抽出できるよう、追加アンケートの実施を検討しています。
- 他薦による方法については、批判的な意見もある一方で、PTA 役員経験者の方からは、「周りから背中を押されていなければ、役員をやっていなかった。結果的にやってよかったと感じている。他にもそういう経験者がいらっしゃる」との意見があり、役員選出に一定の役割を果たしていると判断しました。今年度は、従来の他薦による方法と、上記のアンケートによる候補者抽出による方法を併用して実施することを検討します。
- 候補者選出の際に配布される投票用紙に PTA 会員全員の氏名が掲載されており、個人情報の取り扱い方法として問題があるのではないかと、との指摘を複数受けました。弁護士に照会したところ、結論としては、現在の手続きにより、「個人情報の第三者提供（＝投票用紙の配布）に関する同意を得られていると解釈できる」とのことで、手続き的な問題はないと判断しました。アンケートでの指摘も踏まえ、PTA の「個人情報取り扱い基本方針」をより分かりやすい文言に改定し、個人情報の提供について、納得して同意頂けるようにします。他方、手続き面ではなく、そもそも選出方法として不適切ではないかとの意見については、PTA の継続性やあり方とも関連しますので、PTA 全体の課題として、よりよい選出方法がないか、議論を継続したいと考えています。

以上